

第2回 日本栄養改善学会 東海支部会学術総会 「健康格差社会における医食農同源」

2013年6月30日(日)、静岡県浜松市福祉交流センターにて、学術総会を開催いたしました。浜松市にキャンパスがある常葉大学と浜松医科大学の会員が中心となり、会場設営・運営の準備を進めて参りました。

一般演題は40演題の報告があり、各セッションとも活発な議論が行われました。特別公演は、浜松医科大学教授 尾島俊之氏に「健康寿命と健康格差の社会的決定要因—食が貢献できること—」、市民公開講座は、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所 杉浦 実氏に「みかんと骨の健康—三ヶ日スタディにおける医・食・農—」についてご講演をいただき、112名の参加者が食と健康に関する学びを深めることができました。

本学術総会を盛会に終了できましたことをご報告するとともに、ご協力、ご支援をいただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第2回大会長

常葉大学健康プロデュース学部教授 白木まさ子

